

さいたま市防災カルテ

西原中学校区

①学区の概況と課題

◆学区の概要

【位置】岩槻区の西部に位置し、見沼区と隣接している。
 【土地利用】学区内には住宅地が広がっており、北部には警察署がある。
 【交通】学区の北東部と南部には国道122号、中央部南寄りには東武野田線が走っている。

◆学区の位置



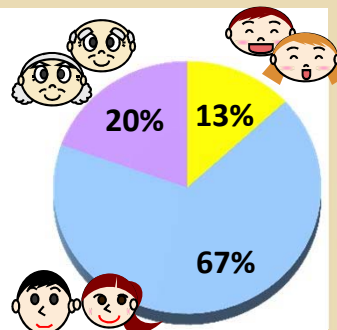
◆学区内被害想定結果

地震	さいたま市直下地震	関東平野北西縁断層帯地震	東京湾北部地震			
最大震度	6強 (6.1)	6強 (6.2)	6弱 (5.6)			
最小震度	6弱 (5.6)	6弱 (5.7)	5強 (5.0)			
死者	3人 (0.0%)	6人 (0.0%)	0人 (0.0%)			
負傷者	57人 (0.4%)	75人 (0.5%)	3人 (0.0%)			
避難者	1,366人 (9.9%)	1,534人 (11.1%)	89人 (0.6%)			
全壊建物棟数	95棟 (2.5%)	157棟 (4.1%)	2棟 (0.1%)			
うち焼失棟数	24棟 (0.6%)	40棟 (1.0%)	0棟 (0.0%)			
半壊建物棟数	459棟 (12.0%)	569棟 (14.9%)	77棟 (2.0%)			
水害	荒川	利根川	江戸川	芝川等	綾瀬川等	鴨川等
床上浸水建物棟数	242棟	0棟	0棟	0棟	0棟	0棟
床下浸水建物棟数	453棟	0棟	0棟	0棟	0棟	0棟

※震度のカッコ内は計測震度を、それ以外のカッコ内は学区内の比率を示す。

◆人口概況 (平成22年国勢調査)

	西原中学校区	全市平均
総人口	13,764人	
人口等		
0-14歳	1,800人 (13%)	(14%)
15-64歳	9,278人 (67%)	(67%)
65歳以上	2,686人 (20%)	(19%)
人口密度	6,101人/km ²	5,766人/km ²



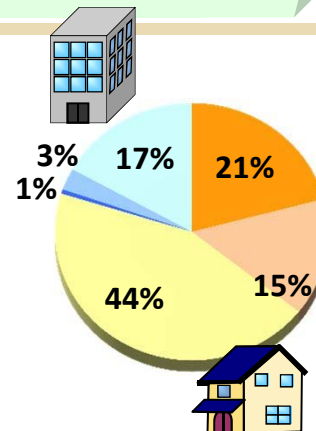
【地震】関東平野北西縁断層帯地震の震度が最も大きくなっており、**地区の約20%程度が全壊・半壊の被害**を受け、**地区の数%にあたる建物は焼失**する恐れがある。

【水害】荒川が氾濫した場合、**地区の15%以上が浸水被害**を受ける。

人口割合は全市平均とほぼ同等である。

◆建物概況 (平成23年度さいたま市都市計画基礎調査)

	西原中学校区	全市平均
総建物棟数	3,826棟	
建物		
木造(昭和46年以前)	799棟 (21%)	(17%)
木造(昭和47-55年)	566棟 (15%)	(12%)
木造(昭和56年以後)	1,688棟 (44%)	(45%)
非木造(昭和46年以前)	21棟 (1%)	(1%)
非木造(昭和47-55年)	104棟 (3%)	(3%)
非木造(昭和56年以後)	648棟 (17%)	(21%)



全市平均と比較すると、いわゆる**旧耐震基準の木造建物が比較的多い**。

◆防災関連施設情報 (平成26年2月時点)

種別	名称
避難場所	西原中学校、西原小学校
一時・広域避難場所	
市・区役所等窓口	
消防署・出張所	
警察署・交番	岩槻警察署
救急病院	
応急給水場所	西原小学校

◆被害想定結果からわかる防災上の主なポイント

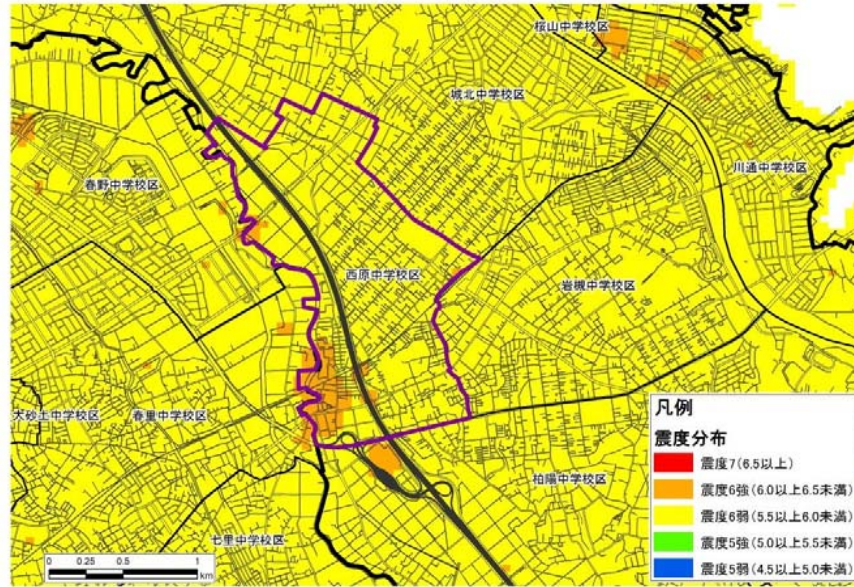
【耐震化】古い木造建物が多い地区のため、**耐震化率の向上が必要**。
 【水害】地域に水害の危険性が高いエリアがあり、迅速な情報伝達体制や、自主防災組織等による**安全な避難体制の構築が必要**。

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話し合ってみましょう。

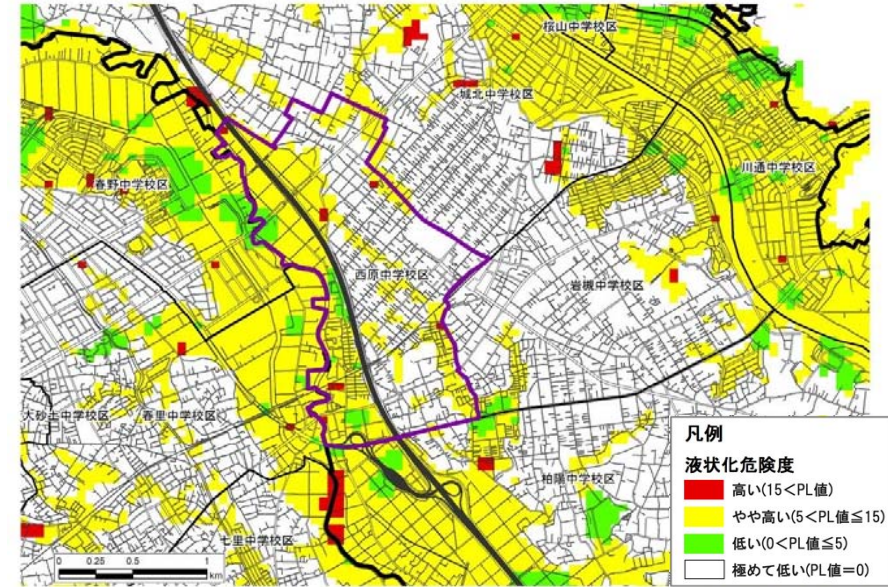
②さいたま市直下地震の想定 さいたま市防災カルテ

西原中学校区

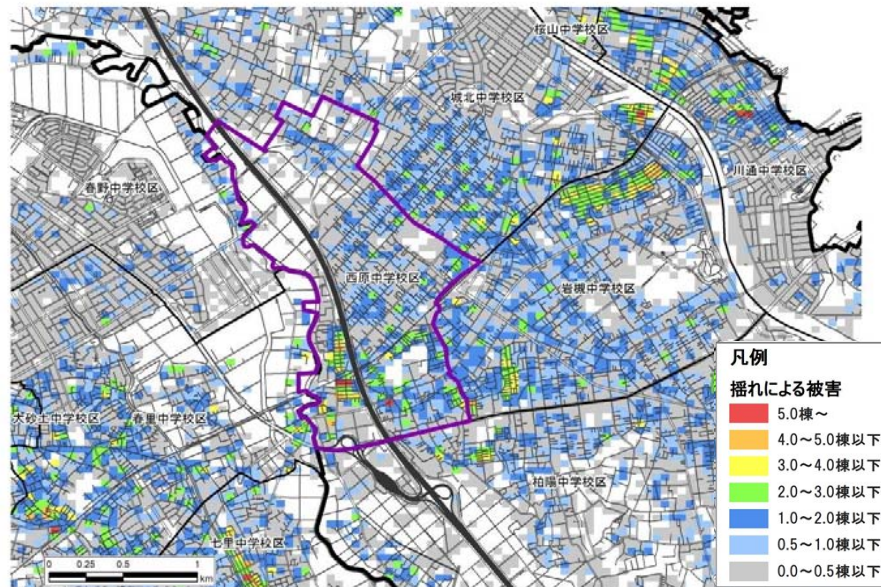
震度分布図



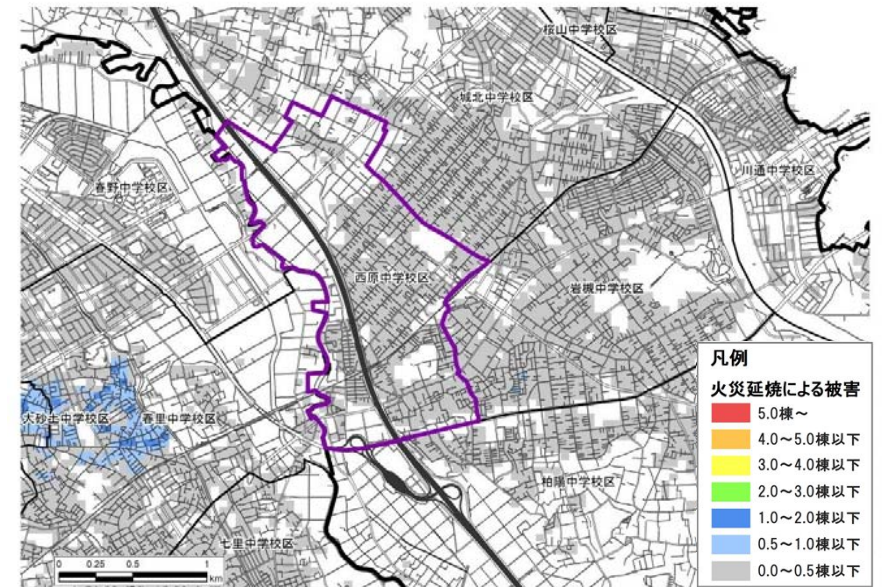
液状化危険度分布図



建物被害分布図（揺れによる被害）



建物被害分布図（火災延焼による被害）

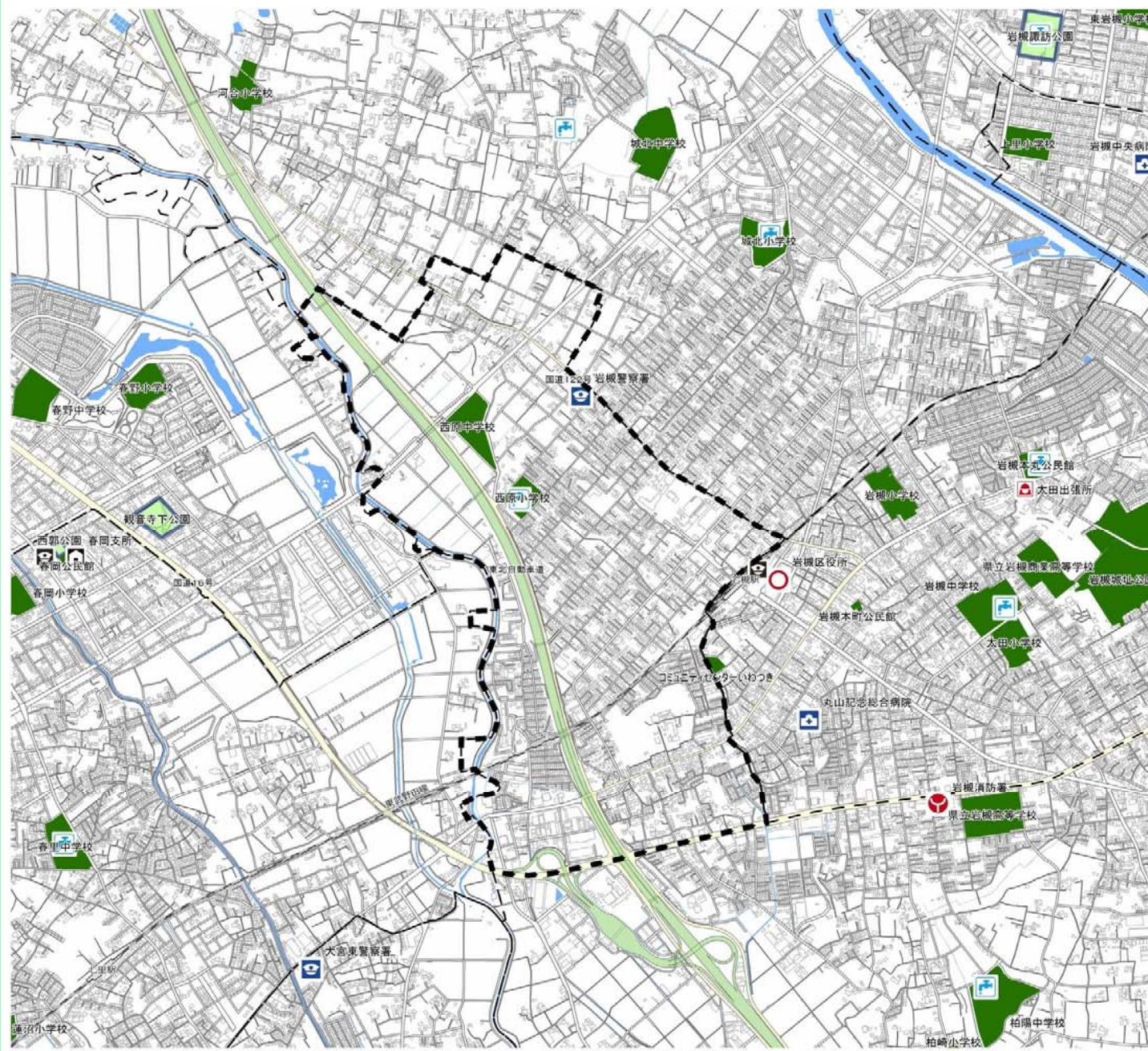


本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話合ってみましょう。

③防災マップ

さいたま市防災カルテ

西原中学校区



凡例

	避難場所		消防署
	一時避難場所		消防署(出張所)
	広域避難場所		警察署
	市役所		交番・駐在所
	区役所		救急病院
	支所・市民の窓口		応急給水場所

(平成26年2月時点の情報で作成)

メモ欄

